

事故防止を願い出動

秋の交通安全運動出動式

秋の交通安全市民総ぐるみ運動に伴う「みんなで登米っぺ交通事故」出動式(市交通安全対策協議会、市内警察署共催)は9月20日、登米市役所南方庁舎敷地内で実施され、関係者約50人が参加しました。

当日は、パトカー5台、市交通指導隊の車両7台による出動式と交通安全教室を実施。子どもや高齢者などの歩行者による交通事故防止と安全運転への注意を促しました。佐藤秀佐警察署長は「県内の死亡事故は減少傾向だが、市内では死亡事故が発生している。交通安全にはワクチンが無い。日頃の安全確認で交通事故を防止するようお願いしたい」と呼び掛けました。



出動式では、パトカーと市交通安全指導隊が犯罪や事故などの防止と早期発見に向けて特別警戒に出動しました。

食と観光情報を発信

観光支援員の委嘱状交付

「地域おこし協力隊員辞令交付式」は9月1日、登米市役所迫庁舎で行われ、観光振興支援員として新潟県出身の志田敏典さん(34)が任用されました。

観光振興支援員は、農山漁村ツーリズムやワーケーションの推進、農畜産物や郷土食、自然、歴史などの地域資源を活用した観光ビジネスの開発や情報発信などを担います。志田さんは「前職では、人とのつながりを大切にしながら営業をしてきました。今後も人とのつながりを大切にしながら、アフターコロナを見据えて登米市の魅力を情報発信していきます」と、意気込みを語りました。



熊谷市長は「おかえりモネで上がった知名度を持続し、観光や農業をしっかり発信いただきたい」と期待を込めました。

地域を知る体験学習

児童らが北上川で川下り

登米小(岩淵達郎校長、児童201人)4年の児童36人が9月22日、北上川で川下りを体験しました。

川下りは、とよま北上川カッパの会協力のもと、登米大橋付近から出発し、脇谷閘門までのコースを3艇に分かれて実施。脇谷閘門では、大正時代に水位差のある河川を渡るために設置された同施設の水位調節の様子を、船に乗った状態で体験しながら学びました。参加した佐久田歩夢さんは「北上川で船に乗るのは初めてだったので最初は怖かったけど、船から見た景色や波がきれいで楽しかったです」と、自然との触れ合いを楽しみました。



カッパの会の舟嶋茂昭さんは「自分たちの町にある川のことを学んで、もっと北上川を好きになってほしい」と話しました。

武士の魂を多数展示

時代を超えて名刀が集結

企画展「刀剣祭」が、9月13日から令和4年2月6日まで、登米懐古館で開かれています。

企画展の展示は前期と後期の2部構成。前期の展示では古刀を中心に、後期の展示では新刀から新々刀を中心に展示します。11月9日まで開かれている前期の展示では、刀、薙刀、槍など多種多様な刀剣が時代を超えて集結。日本刀は「武士の魂」ともいわれ実戦の際には武器として、また権威の象徴としての役割を果たしていました。刀剣は武士にとって最も重要なものとされ、刀剣祭では日本人が培ってきた美意識や刀剣が歩んだ歴史と文化に触れることができます。



企画展では登米懐古館が収蔵する平安時代や安土桃山時代の古刀、江戸時代、明治9年の新刀、新々刀を中心に展示します。

モネ展の会場を拡大

期間延長し2会場に展示

「おかえりモネ展」は10月12日から、市教育資料館から長沼フットピア公園ととよま観光物産センター遠山之里の2会場に変更して開かれています。

モネ展は、ドラマの放送開始から終了までの期間で開催する予定でしたが、令和4年10月31日まで展示期間を延長することにしました。入場は無料です。市観光シテプロモーション課の佐藤克博係長は「組手什をはじめドラマに登場した多数の小道具や衣装などが新たに展示され、新会場でリニューアルオープンしました。放送終了後もそれぞれの会場でおかえりモネの世界を楽しんでください」と紹介しました。



さまざまな年代の人たちが会場に訪れ、作中の印象的なシーンのパネルや小道具などの展示を楽しんでいます。

自動化の技術を体験

自動運転バス試乗会実施

「JR東日本気仙沼線BRTにおける自動運転バス試乗会」は9月6日から19日まで、関係者と登米市、南三陸町、気仙沼市在住者を対象に開かれました。

気仙沼線BRT(バス高速輸送システム)の自動化への取り組みは、技術による次世代に向けた持続的な社会の創造と先事例による地域活性化などの意義が込められており、今後の段階的な実用化を目指します。試乗会では、日本初となる自動運転での時速60キロ走行やトンネル内走行、障害物検知による自動停止、対向バスとの交差通行、映像パネルによる車内モニタリングなどが実施されました。



今野幸子さん=津山町横山7区=と金野とくえさん=津山町横山9区=は「振動もなく繊細な技術に驚いた」と話しました。